

事業所名 グループホームゆのやま

作成日 : 平成 28年 11月 29日

評価結果

市町提出日 : 平成 28年 11月 29日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホーム利用者の重度化が顕著になっている。その役割も、重度利用者を対象としたサービス提供に変化していくと考えられ、比較的自立度の高い認知症利用者を対象とした現在の理念の内容は見直す時期が来ている。	理念を見直し、必要があれば変更を行なう。また、全職員がそれを尊重できるよう図る。	介護職員が、日々の業務の中で感じることなどを参考に、これからの当ホームにふさわしい理念をそれぞれ考え、それを基に職員全員が納得できるだけの新しい理念を作るための意見交換を月一程度の頻度で数回行なう。	12 か月
2	49	利用者の重度化や職員の慢性的な不足などのために、外出の機会が目立って減っている。建物内では感じられない季節を実感できる機会は大切である。	利用者の思い出の場所をめぐるなど、外出イベントの企画を考える。また、建物内においても季節を感じられるような飾りつけを行ったり、催し物を企画する。	できるだけ外出の機会を増やせばいいが、いろいろな事情でそれができない場合もある。忙しい毎日の中でも、飾りつけや催し物に要する時間を作れるよう、職員会議の場などで意識の確認を常に行なう。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。